

要点解説

7人のマネジメント・グルが伝える HRMの哲学

渋沢栄一／本田宗一郎／スティーブ・ジョブズ／稲盛和夫
／ハワード・シュルツ／鍵山秀三郎／エディー・ジョーンズ

アースシップ・コンサルティング 代表 松山 淳

●先達の哲学で道を照らす

人事は「道徳の見張り番」である。日々、「炎上」という言葉がメディアから流れ、倫理観を欠いたほんの小さな社員の行動によって、経営の根幹が揺らぐ時代となった。

経営陣と人事部が一体となって模範を示し、誠実であること、正直であることを当たり前とするような倫理観の高い組織風土を実現する。それは、キレイごとのマネジメント論ではなく、企業の競争力を左右する喫緊の課題となっている。改めてマネジメントを行う者たちの「哲学」が問われているのだ。「哲学」というとビジネスにそぐわない印象を受けるが、「フィロソフィー教育」を重視し成功する組織もある。

本稿では7人のマネジメント・グル（指導者）を取り上げる。彼らの「マネジメント哲学」に焦点を当てながら、人事部の皆さんが「道徳の見張り番」として、その役割を果たす時の参考になる「知」を提示していきたい。

目次

1 渋沢栄一 【正しい道理を貫く経営】

渋沢栄一の哲学 岩崎弥太郎との対立 正しい道理を貫く

2 本田宗一郎 【技術と哲学を尊ぶカリスマリーダー】

哲学と技術の両立 シェアード・リーダーシップ
真の技術は哲学の結晶

3 スティーブ・ジョブズ 【テクノロジーとリベラルアーツの交差点】

「できない」を「できる」へ 禅とプロダクト・デザイン
両利きの経営

4 稲盛和夫 【人としての正しさを追い求める】

人生・仕事の方程式 人間として正しいことか否か
動機善なりや、私心なかりしか 利他の心

5 ハワード・シュルツ 【最優先事項は社員を大切にすること】

スタバ最大の危機 シュルツの想い 利益と社会的良心の両立

6 鍵山秀三郎 【凡事徹底の非凡なマネジメント】

無謀で正しい判断 王道を貫く経営を 10年のトイレ掃除
凡事徹底

7 エディー・ジョーンズ 【勝利の鍵はマインドセットにある】

勝利のマインドセット 日本人の強みを活かす
国際的性格検査の導入 ミスをするから上達する

●松山 淳（まつやま じゅん）



アースシップ・コンサルティング 代表 リーダー研修講師/心理カウンセラー

1968年 東京都生まれ。1992年 成城大学文学部卒、JR東海エージェンシー（広告代理店）を経て、2002年 アースシップ・コンサルティング設立。世界の企業が活用するMBTI®自己分析メソッドを用い、リーダーたちがその人らしいリーダーシップを発揮できるようにサポートする。「リーダーの自己成長を支援し人と組織を元気にすることで世界の家族にたくさんの笑顔をひろげる」を使命に、リーダー層（経営者、起業家、管理職）を対象とした個別相談、コーチング、研修、講演、執筆活動など幅広く活躍中。著書に『名もなき人の生きるかたち』（文芸社）、『バカと笑われるリーダーが最後に勝つ トリックスター・リーダーシップ』（ソフトバンク新書）、『機動戦士ガンダム』が教えてくれた新世代リーダーシップ』（SBクリエイティブ）、『君が生きる意味 人生を劇的に変えるフランクルの教え』（ダイヤモンド社）ほか。

<http://www.earthship-c.com/>